

「西宮市自殺対策計画（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果を公表します

「西宮市自殺対策計画（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

1. 意見募集結果概要

- 【意見募集期間】 令和5年（2023年）12月11日（月）
～令和6年（2024年）1月16日（火）
- 【意見提出者数】 3名
- 【意見提出件数】 5件

＜回答分類別＞

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	1
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	0
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	4
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	0
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	0
	合計	5

問合せ先：西宮市健康増進課 Tel 0798-26-3160

2. ご意見の概要及び市の考え方について

No.	素案の項目 (ページ)	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答 分類
1	第4章 自殺対策の取り組み	今回の計画に列挙された各機関の内容というものが、自殺対策計画を策定する前から西宮市に設置されていたものだと思います。本計画を策定するにあたり、新設された部分があればわかりやすく記載していただきたいです。重点施策として太文字の記載になっていますが、何が重点的に行われ、どのような成果を想定しているのかなどの詳細がわかりませんでした。記載があるとよいと思いました。	1	自殺対策計画に掲載の事業については、基本的には既存の事業の中で、自殺対策の視点を持って取り組んでいくことが重要と考えており、自殺対策として新設された事業としては、特に掲載していません。また、重点施策については、第4章 自殺対策の取り組みの各項目において具体的な内容をご確認いただくこととしています。	①
2	第4章 自殺対策の取り組み 5 子ども・若者への支援 「(2) 教育相談体制の充実」 (46ページ)	西宮市の自死者の特徴として全国に比べて10代の自死者の割合が大きいことがデータを見てわかりました。とても悲しいことです。ほかのデータと照らしてみると、本人の学力の問題だけが原因で自死に至ったのではないと考えられます。自殺対策として「教育相談体制の充実」とあり、それはもちろん必要と思いますが、一番上の項目に「全国学力・学習状況調査」が記載されていることに違和感がありました。一部の学年にだけ実施される「全国学力・学習状況調査」が自死対策にどのような役割があるかが理解できませんでした。「全国学力・学習状況調査」をリストのトップに持ってきているということはそれを最重要視しているように見えます。なぜ一番上に持ってきたのかを知りたいです。もし最重要視しているのであれば、重点が高いものをリストの一番上に掲載して欲しいです。教員の鬱や人員不足が課題視された久しい昨今で、先生にかかる負担が大きいことも不安です。先生が親子を支える要であるとは思いますが、専門家と地域資源を利用しながら子ども達を支える支援者を増やすことが必要だと感じます。	1	「全国学力・学習状況調査」では、学習状況に加え、普段の生活や自己肯定感についても質問しているため、児童生徒のこころの状態を把握するための事業として掲載しています。 また、素案58ページの評価指標「5 子ども・若者への支援」の指標として「全国学力・学習状況調査」での結果を使用しているため、評価の指標となる項目として、重要な取り組みとして考えています。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案の項目 (ページ)	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答 分類
3	第4章 自殺対策の取り組み	<p>残念なことに西宮市において 10 代の自死の割合は全国と比べても割合が高く、毎年多くの子ども達が亡くなっています。SSW の配置が進んでいるとは聞いていますが、それは小中学校でのことです。西宮市立高校は少ないですし、私立や市外の学校に通う子ども達もいます。その子達の西宮市内の子ども達です。その子達に対して、西宮市としてどのような対応をしているのでしょうか。あまりにも手つかずです。20 歳の死亡原因も兵庫県と比べても自死の割合が大きいのが特徴です。相談したくても相談相手がおらずに一人で苦しんでいる子ども達がどれほどいるのでしょうか。年々自死の人数が減っている中、10 代の自死が増えている現状を踏まえると対策に力を入れて欲しいと思います。市内に公立中学校・高校以外の公的な 10 代の居場所はありません。国の施策として市町村に対して「児童育成支援拠点事業」の設置が提案されています。自殺対策としてもこのような場所が有効であると思われませんが、自殺対策計画には記載がありません。西宮市としては中高生の居場所の有効性についてはどのようにお考えですか？また、それ以上に有効な手立てがあるとしたら何だとお考えですか？自殺対策計画を見る限り、大きな歯止めになるような施策が見当たりませんでした。ご回答をお願いします。</p>	1	<p>ご意見の通り、子どもや若者の居場所については、自殺対策においても重要であると認識しております。素案 43 ページ基本目標「4 生きることの促進要因への支援」の(4)生きづらさを抱える人への支援や(5)孤立しないための支援に掲載している事業等につなげられるよう取り組んでまいります。</p> <p>児童育成支援拠点事業は、事業実施にかかる財源確保などの課題もあり、実施しておりませんが、養育環境の課題や不登校などの困難を抱える中高生にとって、家庭や学校以外の居場所があることは大きな支援になると考えます。今後は国の動向や他市事例における事業効果などについて研究してまいります。</p>	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

No.	素案の項目 (ページ)	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答 分類
4	全体	私が 18 歳だった時、同じ中学の同級生だった男子卓球部員がセンター入試の結果が出る前に自殺されました。そのことについて、いろんな思いがありました。でも、何か言葉にすることで、絶対にご家族さんやその周囲の方々が、辛くなり、悲しんで、生活していくことが難しくなり、他人にも家族にもプラスになることはないだろうと思いました。他者に自分の気持ちを伝えることだけが自殺対策だとは思いません。あえて誰のことも 1 ミリも傷つけない人が、自分を傷付けることもあるのではないのでしょうか？自殺をすることがその行為だけ、件数だけ、注目されていると思います。ニュースで「のどかな田園地帯」「閑静な住宅街」「仲の良いご家族」「あいさつはする人」「子煩悩」という言葉が苦手です。変な先生が授業をし、下手なテストを作り、通知してくれる紙又、部活動というものに結果を求めすぎ、恩師として元気はつらつな人。西宮の良さをアピールしつつ、世界平和のために、今何をすべきか、みんなで考えて欲しいです。	1	ゲートキーパー研修や自殺対策に関する周知を行うことで、自殺は誰にでも起こり得る危機であるということや、危機に陥った場合にはだれかに援助を求めることが適当であるということが社会全体の共通認識となり、すべての市民が、身近で自殺を考えている人や自死遺族に寄り添うことができるよう取り組んでいきます。	③
5	全体	基本目標 4 の生きることの促進要因への支援の項目で施策方向支援に各種支援がならんでおりますが、個人においても団体においても生きることの促進要因より生きることの阻害要因が増えた場合に自殺リスクが高まると思います。社会における生きることの阻害要因を減らす取組に加えて、生きることの促進要因を増やす取組を行い、双方の取組を通じて、自殺リスクを低下させることで、支援が可能と思います。私の考える促進要因は自己肯定感、自己愛、信頼関係であり、阻害要因は生活困窮、育児疲れ、介護疲れ、いじめ、孤立を想定します。よろしくお願いたします。	1	素案 30 ページ、基本方針「(1) 生きることの包括的な支援として推進します」に記載のとおり、生きることの阻害要因を減らす取組に加え、生きることの促進要因を増やす取組を行い、双方の取組を通じて自殺リスクを低下させる、生きることの包括的な支援を、計画全体を通じて推進していきます。	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

3. 「西宮市自殺対策計画（素案）」にかかる修正箇所対応表

- ① パブリックコメントの意見を受けて修正した箇所一覧
修正箇所はありません。
- ② パブリックコメントの意見以外で修正した箇所一覧

No.	修正前	修正後	修正理由	素案 ページ
1	令和4（2022）年には67人となっています。	令和3（2021）年以降、再び60人台に転じています。	表現統一のため。	P8
2	男女別自殺者割合の推移 （人）	男女別自殺者割合の推移 （%）	単位の誤り。	P8
3	その後再び減少しています。	その後再び下回っています。	表現統一のため。	P10
4	西宮市の課題 ・国、兵庫県と比べて、自殺者における20歳未満の割合が高く、子供やその保護者が悩んだ時に相談できる場所や、子供が心理的負担を受けた時の対処方法を身に付けることが必要です。	西宮市の課題 ・国、兵庫県と比べて、自殺者における20歳未満の割合が高く、子供やその保護者が悩んだ時に相談できる場所や、子供が問題に直面した時に助けを求めてもよいということを学ぶ教育が必要です。	課題と連動する取り組みを明確にするため。	P26
5	必要な取り組み ・自殺を考えたときや不安を感じたときにためらいなく適切な相談窓口で相談できるよう、相談先の周知や自殺に対する正しい知識、対応についての啓発	必要な取り組み ・悩んでいる人がためらいなく相談でき、周りの人も自殺のサインに気付いて声をかけられるよう、相談先の周知や自殺に対する正しい知識、対応についての啓発	課題と連動する取り組みを明確にするため。	P26

No.	修正前	修正後	修正理由	素案 ページ
6	<p>2 基本方針</p> <p>(3) 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させます</p> <p>自殺対策は、個々の相談支援を行う「対人支援レベル」、包括的な支援を行う「地域連携のレベル」、法律等の整備などに関わる「社会制度のレベル」等、対応の段階に応じたレベルごとの対策を有機的に連動させて推進することが重要です。</p> <p>また、時系列的な対応としては、自殺の危険性が低い段階における啓発等の「事前対応」と、現に起こりつつある自殺発生の危険に介入する「危機対応」、それに自殺や自殺未遂が生じてしまった場合等における「事後対応」のそれぞれの段階において施策を講じる必要があります。また、自殺に追い込まれる前に、助けを求める方法と助けを求めてもよいということを学ぶ教育（SOSの出し方に関する教育）を推進します。</p>	<p>2 基本方針</p> <p>(3) 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させます</p> <p>自殺対策は、個々の相談支援を行う「対人支援レベル」、包括的な支援を行う「地域連携のレベル」、法律等の整備などに関わる「社会制度のレベル」等、対応の段階に応じたレベルごとの対策を有機的に連動させて推進することが重要です。</p> <p>また、この3つのレベルの個々の施策は、自殺の危険性が低い段階における普及啓発等の「事前対応」と、現に起こりつつある自殺発生の危険に介入する「危機対応」、自殺や自殺未遂が生じた場合に新たな自殺を発生させないことや遺族等への支援を行う「事後対応」のそれぞれの段階ごとに効果的な施策を講じる必要があります。</p> <p>「事前対応」の更に前段階での取り組みとして、命や暮らしの危機に直面した時に助けを求める方法と助けを求めてもよいということを学ぶ教育を推進します。</p>	<p>基本方針をより分かりやすいものにするため。</p>	P30
7	<p>3 数値目標</p> <p>本市では、国、兵庫県の目標設定に基づき、本計画における当面の目指すべき目標値を下記のとおり設定します。</p>	<p>3 数値目標</p> <p>本市では、国、兵庫県の目標設定に基づき、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けた本計画における当面の目指すべき目標値を下記のとおり設定します。</p>	<p>本計画の目標となる自殺死亡率の設定に至るまでの流れを分かりやすくするため。</p>	P32

No.	修正前	修正後	修正理由	素案 ページ
8	<p>4 施策体系 (リード文を追加、基本方針を表に追加)</p>	<p>4 施策体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リード文の追加 <p>基本理念の実現に向け、基本方針を踏まえた上で、本市の現状や課題等から設定した基本目標に沿って具体的な取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針を表に追加 	本計画の構成を分かりやすくするため。	P33
9	<p>(事業・取組、事業内容、所管課修正) 事業・取組：地域ケア会議推進事業</p> <p>事業内容：高齢者の生活の質の向上を目指して、多職種による協議を通じ、自立を阻害する生活上の課題に対して具体的な支援方法を検討します。</p> <p>所管課：福祉のまちづくり課</p>	<p>事業・取組：地域ケア会議</p> <p>事業内容：高齢者等の支援内容の検討、高齢者の実態把握や地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の把握を行う等、保健、福祉、介護、医療等にかかる高齢者の支援にかかわる活動を、総合的に調整、推進します。</p> <p>所管課：福祉のまちづくり課 地域共生推進課</p>	事業名・事業内容を分かりやすくするため。	P35
10	<p>(掲載位置の変更) 性の多様性に関する取組(相談)</p> <p>4 生きることの促進要因への支援 (4) 生きづらさを抱える人への支援</p>	<p>4 生きることの促進要因への支援 (1) 相談支援・支援体制の充実</p>	より事業の内容に沿った項目にするため。	P42
11	<p>(事業内容修正) 難病保健事業 難病患者やその家族が安心して地域療養生活を送れるよう家庭訪問、集団指導、電話相談等を実施します。</p>	<p>難病患者や小児慢性特定疾病の子供とその家族が安心して療養生活を過ごせるよう家庭訪問、面接相談、電話相談等を実施します。</p>	事業内容を分かりやすくするため。	P43

No.	修正前	修正後	修正理由	素案ページ
12	(事業・取組を削除) 青少年育成事業	削除	令和5年度で事業が廃止となるため。	P45
13	(事業内容修正) 地域包括支援センター運営事業 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、総合的な相談に応じ、必要な援助を行います。	地域包括支援センター（高齢者あんしん窓口）において総合相談支援、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応、困難事例への対応・助言、地域の様々な関係機関とのネットワーク構築等の業務を行います。	事業内容を分かりやすくするため。	P50
14	(掲載位置の変更) 西宮いきいき体操 7 高齢者への支援 (2) 生きがいづくり・社会参加の促進	7 高齢者への支援 (3) 高齢者・介護者の心身の健康づくりの推進	より事業の内容に沿った項目にするため。	P51
15	(事業・取組、事業内容修正) 事業・取組：男女共同参画推進事業（相談事業） 事業内容：面接相談、電話相談による女性のための相談室を実施し、女性相談員が様々な悩みに関する相談を受け、困難な状況にある方には相談窓口や支援先の紹介を行います。	事業・取組：男女共同参画推進事業（相談） 事業内容：女性相談員・弁護士・キャリアコンサルタントによる女性のための相談室を実施し、相談者が自分を大切に生きようと思えるように支援します。	事業内容を分かりやすくするため。	P53

No.	修正前	修正後	修正理由	素案 ページ
16	(事業追加) ◇生きる支援の関連施策	◇生きる支援の関連施策 事業・取組：自立支援医療（育成医療） 事業内容：手術等によって確実な治療効果の期待できる身体に障害のある 18 歳未満の児童に対して、医療費の一部を公費で負担します。 所管課：保健予防課	掲載が漏れていたため。	P55
17	(内容修正) 生活支援コーディネーター 高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援及び介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす人のこと。	住民同士による生活支援を行う担い手の発掘・養成等を行うとともに、地域資源の開発や地域の多様な主体のネットワーク構築に向け、そのコーディネート機能を担うために配置される職員のこと。	他計画との整合性を図るため。	P65
18	(内容修正) 性同一性障害者	性別不合	名称変更のため	P66